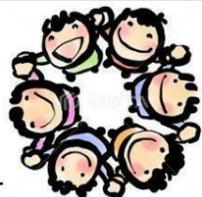


セルクル・きほく

～紀北支援だより～



3学期がスタートしてしばらく経ちました。
あっという間の3学期、今年度の総まとめと来年度への
引き継ぎで何かとバタバタしますが、今年もよろしくお願いいたします。

和歌山県立紀北支援学校
教育支援部
No.7 H.31年1月

※セルクルとはフランス語で「輪」を意味します。学校
や地域とのつながりが大きな輪となり連携していくよう
にという願いをこめています

感覚プロフィール研修会

本校において「感覚プロフィール研修会」を実施しました。
アセスメント力向上を目指し、つくし医療・福祉センターの阪
上心理士を講師にお迎えして研修を行いました。

◆感覚プロフィールとは

- * 環境など周囲からの刺激に対して…
 - ・過反応（過敏）または低反応（鈍感）になっているか
 - ・その状態が、情動や行動の問題と結びついているかの2点を調べる
- * 感覚刺激に対する過反応や低反応については…
 - ・自閉症スペクトラム（ASD）の90%に見られると言われる

◆感覚過敏の厄介な点

- * 他者にはわかりづらい →アセスメントが必要!
- * （過敏さに対応する）行動、言動など日常生活に影響を与える
→感覚の問題を理解した上で支援につなげていく必要性

◆感覚プロフィールの概要

- * 子どもの様子をよく知る保護者（よく知っている大人）が回答
- * 125項目、5段階評価で回答する

◆感覚プロフィールで何がわかるか

- * 感覚刺激に対する反応の問題が、どの領域にどの程度見られるか
- * 過敏さや鈍感さによって、問題となる情動反応や行動を呈していないか

感覚刺激の処理 パターン分類

「低登録」
感覚刺激に対する反応が弱く、気がつかない

「感覚探求」
感覚刺激が欠乏しており打開のため積極的に行動する

「感覚過敏」
感覚刺激に過剰に反応するが回避行動はとらない

「感覚探求」
感覚刺激を積極的に回避する行動をとる

支援計画の基礎

- ※事例検討も行いました。実際の事例を通して解釈と支援について学びました。
- ※実態把握に活用を検討の際はご相談下さい。

発達障害の特性への理解と教育的対応④ ～社会性の困難さ～

<どんなこと?>

- * 場面や状況を読み取りながら、相手の気持ちや人間関係をつかむのが苦手。
- * 状況を自分流に判断してしまい、相手と自分の気持ちの違いなどに気づきにくい。

<どんな姿?>

- * 周囲から自分がどのように見られているかを気にしていない。
- * 一方的な関わりになってしまう。
- * 自分が思っていることや知っていることは、相手も知っていると思ってしまう。
- * 自己評価が高すぎたり低すぎたりする。
- * こうあるべき、が強い。

<教育的対応>

- * 客観的に自分を捉えることができるように、映像やイラスト等、視覚的な手段を活用する。
- * 曖昧な表現（もうちょっと等）は使わない。
- * 会話のやりとり等のスキルを身につけ、円滑なコミュニケーションができるようにする（SSTワークシートの活用等を通して）。
- * 間違いを認めたり、助けを求めたりする経験を積む。

自立活動の取組・教材紹介

自立活動は「実態把握」から始まります
活動・教材ありき、ではないことに留意することが大切です!

教材名	PECS 手作りコミュニケーションブック
自立活動の区分	人間関係の形成、コミュニケーション
ねらい	・したいことや気持ちをわかりやすく相手に伝える（相互的にも） ・言葉の理解を育む
ポイント	・コンパクトなA5のファイルを使い、持ち運びやすいようにしている。 ・マグネットのボタンを付けることでカードがバラバラになることを防ぐ。 ・生活場面だけでなく、授業でも言葉や数の学習に必要なカードをブックに加えて活用することができる。ブックをそのまま使用するため、学習したことを生活に活かしやすい。



低登録	刺激を多めに入れる、問題のない部位への刺激を併用する。
感覚探求	様々な刺激を入れ、どのような刺激を求めているのか把握する。 刺激が多い中でも活動できる配慮、好きな刺激をご褒美に使うことは望ましくない。
感覚過敏	入ってくる刺激を減らす、入ってくる刺激の構造化（刺激を与える前にアナウンス等）、慣れることは容易ではない（慎重に少しずつ許容範囲を広げる）、情緒の安定化（不安が高まると過敏性も高まる）。

<ご相談は…>

紀北支援学校 教育支援部 TEL 073-479-1356
相談メール
kihoku-shien@wakayama-c.ed.jp

